

篠島ブルーエコノミー 現地視察ツアー

～サステナブルな未来を創る「1day」現地インプット～

日本のブルーカーボン・生物多様性ビジネスをリードする大企業・スタートアップの事業推進担当者様へ。

愛知県南知多町の「篠島」では、篠島漁協と大林組を幹事としたチームの連携による、泥臭くも最先端な藻場造成・6次産業・多角化水産の社会実装が進んでいます。

今回の1dayプログラムは、ネットの二次情報には絶対に載らない

「どうやって地元漁協と信頼を築き、この共創を実現させたのか」という生々しいプロセス（一次情報）を、現地でキーマンの生の声としてお伝えする特別な機会です。

貴社のサステナビリティ事業・クレジット創出事業の立ち上げスピードを劇的に加速させるため、是非一緒に篠島での活動を検討しませんか。

篠島で、未来の可能性を見つけませんか？

共創のオープンな場

漁協・建設・金融・商社など、多様なプレイヤーが集結。自社の技術やアイデアを掛け合わせ、新たなPoCを生み出せます。

最先端の現場に触れる

藻場造成や6次産業など、複数の取り組みが進行中。リアルな水産現場から、事業のヒントを得られます。

抜群のアクセシビリティ

名古屋圏から約1時間半。高い頻度で通いながら「日帰りで高速に検証を回す」という理想的なアプローチが可能です。

1dayプログラム（11:35集合～17:40終了予定）



オープニング&篠島プロジェクトの共有

なぜこの4者が結集したのか、プロジェクトの最先端の実施内容について共有



フィールドワーク①：水産現場のリアルに触れる体験

自然の豊かさと表裏一体にある、水産資源管理の泥臭くも重要な現場を五感で体感



食べるブルーエコノミー

篠島ならではの海の恵みを囲みながら、参加者・島民同士が肩書を外して本音で語り合う時間



フィールドワーク②：最先端の藻場造成・スマート水産視察

大林組をはじめとする各社の技術がどう現場に溶け込んでいるか、実装設備をダイレクトに視察



特別パネルディスカッション&名刺交換会

「漁協×大企業」の信頼構築のプロセスを赤裸々に語るセッション。次なるPoC（実証実験）の種を探る自由交流

※当日の天候や状況により、内容・順序が一部変更となる場合があります

こんな方におすすめ！

- ✓ 新規事業のヒントを地域から得たい方
- ✓ リアルな現場での課題やニーズを知りたい方
- ✓ サステナブルな社会貢献とビジネスの両方を目指す方
- ✓ 地域・漁業・テクノロジーとの共創に関心のある方

日時

2026年10月2日（金）11:35～17:40（現地滞在時間）

場所

篠島内（集合：11:35 篠島港定期船のりば）

対象

大企業・スタートアップの「ブルーカーボン」「生物多様性」「自然資本」に関連する新規事業担当者、サステナビリティ・ESG推進部門の企画者

定員

【限定・先着20名様】※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

参加費

15,000円（税込）※現地ランチ代・視察体験費を含みます。

主催

株式会社BLUABLE

共催

篠島漁業協同組合・大林組・カーボンリサイクルファンド

お申込み

<https://forms.gle/b5xAGkMpftsLNZY08>

お申し込みはこちら

